

# イシスのヌメリ取り剤

ハモ向けに開発されたが、ウナギ、ナマズ、アナゴ、アンコウなどヌメリの多い魚種にも利用できる。

アナゴはこれまで、焙

焼機などで焼き上げるため、ヌメリ除去は必要なかった。しかし、同業他社との差別化を図るため、雑菌の増殖や臭いのもととなるヌメリの



「アルカリンHa」「ヌメリクリンHa」でヌメリを除去したアナゴ

作業は浸すアルバイト

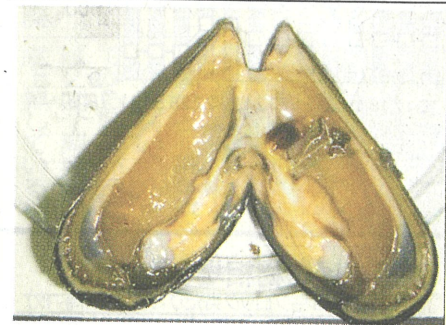
## 感染防御機能 物資の遺伝子解明

ムラサキイガイで  
横浜市立大など

横浜市立大などの研究チームがこのほど、ムラサキイガイが微生物に感染すると体内で作られ、その増殖を抑える「Mytilin」という

レクチンの遺伝子配列を突き止めた。この遺伝子配列を用いて、食用二枚貝であるムラサキイガイ養殖時の微生物感染診断法や、海洋環境の健全性を評価するマーカーの開発が期待できるとい

同大学院生命ナノシステム科学研究科の大関



ムラサキイガイ (横浜市立大提供)

泰裕教授(糖鎖生物学)らの研究チームが解明し、同研究成果は5月11日付の「イシスの海洋創薬雑誌「Marine Drugs」にオンライン掲載された。